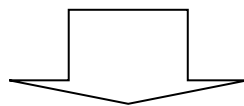


	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の経験したことや想像したことを、相手にきちんと伝わるように文章を書くこと。</li> <li>文章を読んで自分の考えや感想をもち、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くこと。</li> <li>漢字を正しく丁寧に書くこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み手は誰なのか、その読み手はどんなことを知りたいと思うのかなど、文章を書く相手を意識させる。また、資料等を活用する場合は、調べたこと全てを引用するのではなく、自分が一番書きたいと思ったことを相手に伝わるようにまとめるようにする。</li> <li>同じ文章を読んでも一人一人が着目する点は違うので、他の人の感想のよさに気付き、認め合うための交流の時間を設ける。</li> <li>漢字ドリルを活用し、宿題を出したり小テストを行ったりするなど、練習が何度もできるようにする。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料活用の仕方において、表やグラフ・地図などの読み方や、読み取った数値や事象を活用して考え表現し、それらに応用できる力を身に付けること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の動機づけが図れるような身近な題材を取り上げた表やグラフ、地図などを定期的に授業の導入で活用し、読み取りや考察におけるスキルの向上を図る。</li> <li>単元の初めに、児童とともに小単元を貫く学習課題を立て、教材に取り組むための見通しをもたせる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>数の表し方、整数の計算の意味と性質、小数及び分数の意味と表し方、基本的な図形概念、量の概念、棒グラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにすること。</li> <li>除数の意味について理解し、数量の関係に着目し、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりすること。</li> <li>除数において、数量の関係に着目し、計算を日常生活に生かすようにすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解度に応じた問題を用意し、適宜取り組ませたり、繰り返し取り組ませたりするなどして、課題に対する苦手意識を少なくして、感覚を養っていくようにする。</li> <li>除数の意味を理解するために、乗法と除法の意味の関連をおさえる。</li> <li>日常生活に即した問題を用意するなどして、除法に関わる数学的活動を身近なものにする。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察や実験に意欲的に取り組み、事象を「比べて」見たり、考えたりすること。</li> <li>観察や、実験の結果からどんなことが言えるのか、自分の考えをまとめて伝えていくこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予想を立てる時は、なぜそう考えたのか、理由も付けるようにする。</li> <li>実験・観察においては、「比べてみる・考える」という3年生の視点を意識して発問したり指導したりして、理科的な物の見方を育てていく。</li> <li>板書において、課題→予想→実験→結果→考察の基本の流れを明確にし、論理的な思考を視覚的に補って、繰り返し指導していく。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の力に適した課題をもって、それを達成するために必要な力や動きを身に付けるように工夫できるようにすること。</li> <li>決まりを守って楽しく仲良く運動に取り組み、互いに助言し合うことができるようにすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループでできればえを見合う場、助言し合ったり作戦を練ったりする場など、運動の特性に合わせて児童同士が関わる場を設ける。</li> <li>話し合いの軌跡をたどることができるように、運動量に影響が出ないように配慮しながら、学習カードを積極的に活用する。</li> </ul>

道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材の内容を理解し、自分の考えをもつこと。</li> <li>自我関与や役割演技などの活動を通して、価値や自分について考え、理解を深めたり、実生活につなげたりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挿絵を利用して話の展開を確認するなど、短時間で全員の共通理解が図られるような手立てをとる。</li> <li>授業の始まりと終わりで、ねらいについての自分の考えが、深まったり変化したりしたことが分かるような板書の仕方にする。また、教材をたどる板書ではなく、児童の気付きを中心に黒板に記録していく。</li> <li>考えたことや実生活にいかそうとする心情を見取ることができるように、感想カードやノートなど記録に残す取り組みを引き続き行う。</li> </ul>
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決のために集めた情報をまとめ、互いに伝えること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなに伝える方法として、劇・紙芝居・工作・クイズ・ペーパーサート・新聞などの手段があることを指導していく。各グループの発表の良いところをみんなの前で紹介するなど、学びを広げる場を確保する。</li> </ul>
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取ること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の好きな色や食べ物、持ち物など自分の身の回りの物を表す語句を、イラストや写真などを提示しながら聞き取れるようにする。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら様々な音楽に親しむこと。</li> <li>曲の特徴をとらえた表現を工夫し、どのように表すか思いや意図をもつこと。</li> <li>基礎基本をふまえて、表したい音楽表現をするための技能を身につけること。</li> <li>楽器を大切に扱ったり、挨拶をしっかりしたりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎時のねらいを明確にし、個人の学習活動を保証すると同時にペア学習を有効に取り入れる。</li> <li>普段より音楽的な語彙を増やせるよう、児童の発言を生かした言葉や音楽表現を表す言葉の掲示物を配慮する。</li> <li>リコーダー学習を中心に、教材を作成し、ステップアップを図れるよう見とる。</li> <li>掲示物と声掛けを習慣化するようにする。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な材料から造形的な活動を思いつき、すすんで手や体全体を動かし工夫を重ねること。</li> <li>安全に配慮すること。道具を大切に扱うこと。</li> <li>身近にある作品から、造形的なよさや面白さを感じ、自分の見方や感じ方を広げること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が主体的に選び取り、何度も試したり作り変えたりすることができるように材料を豊富に用意する。</li> <li>道具の扱いについてのルールを最初に確認し、徹底する。</li> <li>鑑賞の時間を題材の途中で数回取り入れる。鑑賞者が感じたことが作者に伝わるよう、形態を工夫する。</li> </ul>



	成果○ と 課題▼
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元学習の言語活動の中で積極的に交流活動を取り入れることで、少人数グループで役割を設けて話し合ったり、要点を聞き取ったり姿が見られるようになった。</li> <li>○ノート指導を継続してきたことで様々な形態のまとめ方を経験させることができた。</li> <li>○児童とともに単元計画を立て教材を読んでいくことで、めあてについて深く考えたり、課題について友達と考えを交わしながら少しでも考えを書こうとしたり、考えて表現する学習の流れをさらに定着させられた。</li> <li>○リーフレット作りで要点を整理したり、主人公に手紙を書いたりし読み手を意識した文章作りをすることができた。</li> <li>○教科書にサイドラインを引かせ、ペアやグループで「どうして線を引いたのか。」について、教科書の言葉を根拠にして交流することができた。</li> </ul>

	<p>▼漢字の定着に差があると感じる。家庭とも連携し、家庭での漢字の復習や漢字学習ができる時間を確保していきたい。</p> <p>▼読み深めることを児童に味わわせるためには、学習課題の内容や焦点の当て方を指導者がより深く考え吟味する必要がある。</p> <p>▼要点を読む指導を経て、資料などをもとに、伝えたいことを選び書くような情報活用の力はついてきた。今後は大切な言葉を抽出したり文章を短く書き換えたりする力を充実させるよう活動を工夫していく。</p>
社会	<p>○資料の読み取りについて、実際に図を目の前にして様々な意見を出し合うことで、どのような観点で何を読み取ればいいのか大半の児童が分かり始めてきた。</p> <p>○単元の学習課題を確認し学習計画を児童とともに立てたことで、調べ活動や学習のまとめなどで児童が課題意識をもち主体的に学習に取り組む姿があった。</p> <p>○学習を重ねることで、自分なりの考えや見方をもつ時に、前単元のやり方を思い出して活動に取り組むことができるようになった。</p> <p>▼学年の始め頃、課題の見取りがしづらいような学習単元の場合に、十分に内容を理解せず、課題意識をもてない中で、校外活動に参加するだけになっている児童が見られた。どの児童も学習内容を理解し、事後にまとめる中で気づきを深めて、社会科の学習目標に到達させるためには、課題を個別・小集団などどのような形で進めるかよく吟味したい。また、どの児童も作業の進行・順序が把握できるようにする手立てが必要である。</p>
算数	<p>○自分の力に合ったコースを4つに分けて学習進度を調節できたことで、ほとんどの児童が除法を含む基本的な計算技能（和差乗除）を身に付けることができた。</p> <p>▼課題に対して、既習事項を用いて考えたり、自信をもって表現したりすることができるように、今後も自分の考えを書く指導を繰り返していく。</p> <p>▼新しい数の概念として「小数」を理解できた児童は多かったが、「分数」についての理解には時間がかかった。今後も具体物を用いたり、生活の中で分数を使う場面を作ったりしながら習熟を図る。</p>
理科	<p>○観察や実験に対して意欲的に取り組んだ。結果を予想する場面では、理由を付け加えてノートに書かせたり発言させたりして考えさせたことで、論理的に考える習慣がついてきた。</p> <p>○学習課題から結論に至るまでの学習の流れを実験・観察ごとに繰り返し進めた。また、国語（説明文）の学習において読んだことを理科ノートの形にまとめる活動を行ったことで、結果と考察（結論）の違いをさらに理解させ、基本的な学習の流れを定着させることができた。</p> <p>▼実験や体験活動に熱中する中で、ねらいと逸れた理解や気づきで留まって、十分理解したのか不確かな状況も見られたので、実験や体験活動の目的を十分に理解させて取りまとめる必要がある。</p>
体育	<p>○友達同士でアドバイスをしたり、良いところや工夫点を発表し合ったりすることができた。</p> <p>○習熟度別の場の設定を工夫し、自分で場を選べるようにした。</p> <p>▼個々で技を高めたり、仲間と協力したりする場面で、夢中になりすぎて決まりが守られていないことがあった。安全のためにも、児童に決まりを徹底させたい。</p>
道徳	<p>○学級間で授業の情報を共有し指導者の教材理解を向上させることで、児童が授業の中で、教材を通じて自分を振り返ったりこれからできることを考えたり、実生活に置き換えて考えさせる時間が確保できた。</p> <p>○ワークシートやノートを用いて、考えたことを記録に残す取り組みを続け、自らの気持ちの変容や考えの深まりを捉えることのできる児童も見られた。</p> <p>▼教材理解、指導展開によって児童の考えの深まり広がりには差が見られる。「考える道徳」の授業展開に一層工夫する必要がある。</p> <p>▼児童が考えを交流する時間が、ペア・グループ・一斉などの各形態でより指導者の意図をもって設けられれば、さらに多面的多角的な理解を進めることができる。（今年は一斉での交流が多かった。）</p>
総合	<p>○学習計画を立てる際に、児童の表現の幅を広げられるように発表形態を紹介し、また、その中から児童が取捨選択する場面があった。</p> <p>○調べたことを他学年や学年間に紹介する場を設けるなど、目的や相手を意識して学びを広げることができた。</p> <p>○他教科との関連性をもって、横断的に学習を展開することができた。</p> <p>▼多様な発表形態や表現手段を児童が十分に活用していくためには、継続して様々な発表形態や表現手段があることを知らせていく必要がある。</p>

外国語活動	<p>○楽しく活動に参加したり、簡単な言葉やフレーズを聞き取ったり、毎週の授業を楽しみにして外国語活動に慣れ親しむ児童が増えていった。</p> <p>○クイズ大会やお店屋さんごっこなど、遊びの中では夢中になって会話を覚えたり自信をもって参加したりする児童が多かった。</p> <p>○自分の好きな色や食べ物、持ち物など自分の身の回りの物を表す語句を伝え合うことができた。</p> <p>▼ALT と打ち合わせを密にして連携を図っていく。</p> <p>▼全体で声を合わせて歌ったりチャンツを楽しんだりすることはできるが、個として友達などと簡単な会話を交わす小活動などにおいては、話すことに消極的だったり、伝わっているかどうか不安そうに活動したりする様子が見られる。児童がより外国語活動に親しめるよう、教材を工夫する。</p>
音楽	<p>○リコーダー学習では、音楽会と 6 年生を送る会の発表を経て、概ね全員がリコーダーの基礎的技能を身に付け、右手の運指（低音）を使った曲を演奏することができるようになった。学年全体でリコーダーを演奏することに意欲を持って取り組むことができた。</p> <p>○歌唱や鑑賞の活動を通して曲想を感じ取り、表現をどのようにするか、取り組むことができた。徐々に曲想を表す言葉の語彙が増えてきている。語彙を表す掲示が有効だったので今後も続ける。</p> <p>▼曲想を感じ取り言語化することは身についてきた。それを表現につなげる感性、技能の育成を図れるよう計画的に年間指導計画を組む。</p>
図工	<p>○題材に興味をもち、意欲的に題材に取り組んでいた。</p> <p>○道具の扱いについては、自分たちで危険予測もしつつ安全に扱うことができている。</p> <p>○友達の作品に興味をもち、楽しみながら意欲的に見ている。</p> <p>▼自分の表現に自信をもち、活動が広がったり深まったりするように、こまめに声をかけ、自信をもって自分の表したいこと、表現の仕方、世界観を広げていけるようにする。</p>